

豆 狸 の 寝 言

副会長 三原幸二

恥ずかしい話だが、いまだにすき焼きを食べる時には何がしかの緊張感がともなう。まっ先に肉から食べたいのだが気がひける。あつかましいとかズルイとか思われるのではないかと気になって、気がひるむのである。そこで、やむなく野菜と豆腐を取ってから少しばかりの肉を恐る恐る皿へ取り込むことになる。たまに一緒に鍋を囲んだ人がいきなり大きな肉をつかみ取って食べようものなら、その大胆な行為に気が動転するほどの衝撃を受けるのである。大げさではなく本当にそう思うのである。食べ物のない時代に育ったせいかな、いい年をしたおっさんになっても、すき焼きには妙なこだわりがある。

最近では家内と二人きりで食事をするのですき焼きをする機会がうんと少なくなったが、二人だけのすき焼きはあまりうまくない。



やはり、すき焼きは大勢で食べるのが一番である。あらかじめねらいを付けておいた肉を、煮えた頃合を見て隙あらばとネギや白菜の間にはさんで食べる、あの緊張感と満足感は何ものにも替えがたいものである。

もし、私とすき焼きを一緒にたべていただく機会がありました時は、私が動転しないよう心配りをお願いする次第であります。

(お恥ずかしい話)

会報誌 **NewWave** へご寄稿のお願い

「New Wave」誌は、皆さまに身近な会報誌としてご愛読していただくことを目指しています。その第一歩として、読者の皆さまからのご寄稿を数多く掲載することを計画しています。一人で心の中にしまっておくには勿体ないような面白い話や為になる話。それに、地元のグルメ情報などジャンルは問いません。

ご寄稿は、メール・アドレス「zennichi@jeda.or.jp」へ、件名「寄稿」と記入の上、送信して下さいようお願い致します。800～1000文字程度にまとめた文章に写真

2～3点を添えていただければ幸いです。

各単組の組合員企業ならびに賛助会員企業の皆さまよりのお便りをお待ちしております。

全日本電設資材卸業協同組合連合会・広報委員会